



木脇中
学校だより

「夢」実現

ゆめじつげん

第5号

～地域とともにある木脇中～

発行元：
国富町立木脇中学校
(文責 校長・向江)
令和5年6月7日

特集 宮崎地区中学校総合体育大会 (6/10～12) 開催

さあ、今週末の6/10(土)から「宮崎地区中学校総合体育大会」が開催されます。

3年生にとっては、コロナ禍にあっても、くさらずに我慢し続けてきた特別な思いがあると思います。でも、コロナから受けたマイナス面以上に、部活動を通して培ってきた、夢や目標をあきらめないことや、仲間と協力すること、継続することなどの大切な、周囲への感謝等は、皆さんの人生の支えとなる宝物になると信じています。

また、木脇中生として出場する最後の公式大会ですので、悔いを残さないよう、欲を言えば、全員が県大会に出

場して欲しいと思います。

「いつもどおり」の力を発揮できれば、必ずよい結果が出ると思います。ただし、それ以上の結果を求めるのであれば、最終手段、自分の限界を超えた「火事場のばか力」を出す必要があります。(※下を参照)

最後に、悔いの残らない試合で、満足のいく結果が残せることを願っています。また、会場では誰からも、心から応援してもらえるように「品格」のある立ち振る舞いや戦い方をお願いします。その積み重ねが、「憧れ」をもたれ「尊敬」される存在となると思います。

キャプテン・代表の抱負

キーワードは「品格」と「感謝」



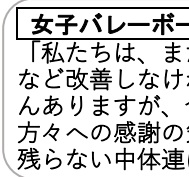
サッカー部 福永 大輝

「目標は県大会出場です。3年生はこの大会が最後ですので、これまでの大会や練習試合での経験を無駄にせず、感謝の気持ちを忘れずに全力を尽くして頑張ります。」



男子バレーボール部 杉田 煌斗

「3年生にとっては、3年間の集大成となる最後の大会なので、このメンバーで1試合でも多く試合ができるように、全てを出し切り、そして県大会の出場を決めます。」



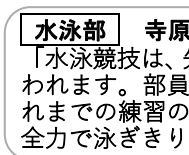
女子バレーボール部 黒木 怜寧

「私たちは、まだ、声出しサーブやカットなど改善しなければならないことがたくさんありますが、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、悔いが残らない中体連にします。」



陸上部 矢定 桜

「目標は県大会出場です。3年生はこの大会が最後なので、これまでの大会や練習試合での経験を無駄にせず、感謝の気持ちを忘れずに全力を尽くして頑張ります。」



水泳部 寺原 羽琉

「水泳競技は、先行して6月3日・4日に行われます。部員は3名と少ないですが、これまでの練習の成果を発揮して、最後まで全力で泳ぎきりたいです。」



終了しました



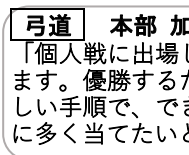
男子バスケットボール部 穴井 怜太

「目標は県大会出場です。3年生はこの大会が最後ですので、これまでの大会や練習試合での経験を無駄にせず、感謝の気持ちを忘れずに全力を尽くして頑張ります。」



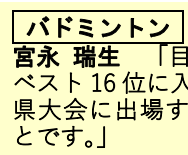
軟式野球部 小倉 魁翁

「拠点校の本庄中と一緒に出場します。初戦の佐土原中とはいい試合ができると思うので、1年生としてしっかり声を出して、いい雰囲気になるよう頑張ります。」



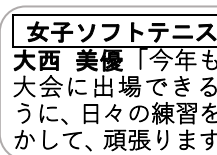
弓道 本部 加捺

「個人戦に出場し優勝を目指します。優勝するだけでなく、正しい手順で、できるだけ真ん中に多く当てたいと思います。」



バドミントン 宮永 瑞生

「目標はベスト16位に入り、県大会に出場することです。」



女子ソフトテニス 大西 美優

「今年も県大会に出場できるように、日々の練習を生かして、頑張ります。」



参考 「火事場のばか力」を出す方法

人間の脳にはあらかじめ安全装置(リミッター)がかかけられており、80%程度のパワーしか出ないようになっている。ところが、緊急事態に遭遇すると、安全装置が解除され、アドレナリンが放出され、限界を超えて潜在的なパワーが発揮される。ちなみに、(砲丸投げの選手がよく大声を出しているように)大声を出したり、心の中で「自分ではできる!」と強くイメージするトレーニングを積むと、意図的に脳の安全装置を外すことができるようです。



6月2日、体育館で「燦燦さんさん会」を実施しました。各キャプテンからの力強く頼もしい抱負の発表に続いて、井上保体副委員長から激励のあいさつがあり、大会が楽しみにになりました。

「燦燦さんさん会」

◆◆木脇中ホームページ◆◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4143/> から、学校だより等、学校の情報をご覧いただけます。

木脇中

検索

⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿
天安門事件が起きて、6月4日で34年になりました。当時新採の私は、初の修学旅行の列車の中で、朝刊を広げ学年主任の大先輩と、この話題で盛り上がったのを今日のこのように覚えています。今と違って引率の仕事も分らず、責任もなく、ただただついて回るばかりでした。(向江)

